



お元気ですか!

志村 たかよし です

第650号 2013年7月14日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

「移転は決まったもの」と繰り返す区長も 「最終的には農水省が判断」と答弁

豊洲での新市場開場のためには、農水大臣の認可が必要となります。ます。

日本共産党の笠井亮衆議院議員は、07年、当時の福田内閣にたいし、深刻さが明らかになった豊洲の土壌汚染をふまえて、築地市場「移転」問題についての「質問主意書」を政府に提出し、「政府答弁書」を出させました。

その「政府答弁」はたいへん重要なもので、現在でも「移転計画」に「しぼり」をかけているのです。「答弁書」では、笠井議員の指摘を受け、

★食の安全性や信頼が確保されるよう科学的見地に基づき万全の対策をとること。

★消費者等に対して対策の内容などについて十分な説明を行い、その理解を得ること。

を認可の条件にあげています。

笠井衆議院議員への「政府答弁」の重要なポイント

政府は「東京都に対し、食の安全性や信頼が確保されるよう科学的見地に基づき、万全の対策を講じるとともに消費者等に対して対策の内容等について十分な説明を行い、その理解を得るよう求めているところ」と答弁し、国の責任を認めました。

また、都から移転の認可申請があった場合には、「適切に判断していきたい」と答弁しました。



笠井亮衆議院議員

歴代農水大臣（若松大臣、赤松大臣）も、「二つの条件」をクリアしなければ認可のサインはしないと表明しています。

都がいくら「移転は決まった」と

と言っても「二つの条件」をクリア

して認可を得なければ豊洲新市場は開場できない、つまり、築地市場「移転」は、できないのです。

共産党躍進は「移転反対」の声
と加藤区議

今回の都議選で、築地市場の現在地での再整備を一貫して主張している日本共産党が17議席、都議

会第3党に躍進しました。

それに反して、移転反対から推進に転向した民主党は、議席を大幅に減らし、都民・区民の厳しい批判を受けました。

一般質問に立った日本共産党の加藤博司議員は「都議選の結果によって、依然として都民・区民の多くが『築地市場現在地再整備』を望んでいることが明かになった」と指摘し、都議選で日本共産党が躍進したことは、政府答弁が求める『消費者の理解を得ること』が



浄化のための大がかりなプラント=豊洲

出来ていないことを証明しているのではないかと質問しました。

区長は「消費者等の理解に向けては、都が十分に説明責任を果たしていくべきもの」と答えたものの、都議選の結果についての見解は述べませんでした。

「土壌の完全浄化は不可能」と専門家

豊洲新市場予定地の土壌汚染はとても深刻で、次々と新たな汚染が発覚しています。

そのため、土壌汚染対策費・建設費とも当初の予定より大幅に増額され、土壌汚染対策費は、86億円増の672億円となっています。工事期間も1年間延長しましたが、この先は、何が起きるのかは不透明な状況です。

加藤区議は、環境学会の専門家が「土壌が浄化されることは不可

能」と指摘していることを示し、

「これでは政府答弁の言う『万全の対策』がとれていないのではないか」と質問しました。

区長は「安全性に関しては様々な意見があると思うが、都は、安全な開場に向けて万全を期するとし、処理状況の確認などが行われている」と答弁するにとどまりました。

区長「最終的判断は農水省」と認める

区長は「政府答弁への対応については、最終的には農水省による認可の際に判断されるべきもの」との認識を示しましたが、「移転」前提のまちづくりの総力をあげることを強調しました。

加藤区議は、「移転」阻止の可能性を追求することを強く求めました。

共産党は「何でも反対」というけれど 6月議会（2定）の議案にはすべて賛成

よく「共産党は何でも反対する政党だ」と断定的に言われることがあります。

でも事実は全く違います。

「区民の目線」で是非を判断

日本共産党は、区議会にかかる議案について、「区民に不利益はないか」「区民の

理解が得られるか」など、「区民目線」で賛否の態度を判断しています。

第2回定例会に提出された9議案のすべてに日本共産党は賛成しました。

また、賛成する場合でも、改善点を提案するなど「区民の立場」を貫いています。